

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備, 維持補修又は維持運営等措置	鹿児島県電源立地地域対策 補助金事業 曾木の滝公園整備事業	伊佐市	3,979,404	3,979,404	総事業費 3,979,404

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備, 維持補修又は維持運営等措置	鹿児島県電源立地地域対策補助金事業 曾木の滝公園整備事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊佐市				
交付金事業実施場所		伊佐市大口宮人地内				
交付金事業の概要		<p>「曾木の滝公園」は、雄大なロケーションを楽しむことのできる伊佐市最大の観光地であり、来園者は平成29年270,500人、平成30年271,426人、令和元年280,600人と年々増加している。当該公園は屋外であるため、コロナ禍においても県内外から多くの観光客で賑わっている。公園内駐車場にはRVパーク4台分を整備し、近年のアウトドアブームにより利用件数は増えてきている。また、紅葉期に開催される「もみじ祭り」のライトアップも多くの観光客で賑わう人気のイベントとなっている。令和2年12月からは公園内店舗の夜間営業も始まっており、夜間の来園者も増えてきている。同駐車場には照明設備が5か所しかなく薄暗く、来園者が夜間安全に移動することができない状況にあったが、照明設備を増設したことにより、更なる安全な利用が図られ、アフターコロナの交流人口の増加に大きく寄与することにつながりました。</p> <p>また、イベント用テントを更新したことで、もみじ祭りの魅力化や安全面の改善など、来訪者の満足度向上にもつながりました。今後も交流人口の増加及び地域経済の活性化に活用します。</p> <p>○曾木の滝公園駐車場照明設備工事 9台 ○イベント用テント 17張</p>				
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標		<p>主要施策：第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画 政策2：伊佐の特性を活かす地域産業づくり 施策8：観光・交流の振興 目標：観光客数（宿泊＋日帰り） （平成26年度現状値609,263人→令和3年度目標値700,000人）</p>				
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度		令和3年度	
事業期間の設定理由		第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和4年度
		平成26年度現状値609,263人→令和3年度目標値700,000人	市民意識調査による	成果実績	%	
				目標値	人	700,000
				達成度	%	
		評価年度の設定理由				
第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画の終期の翌年度に評価を実施						

交付金事業の定性的な成果及び評価等						
<p>老朽化によりイベント運営や景観に支障をきたしていたイベント用パイプテントを新たに購入することにより、今後のもみじ祭りの魅力化や安全面の改善など来訪者の満足度向上に寄与するものと考えられる。また、夜間の安全性が課題となっていた曾木の滝公園の駐車場に照明を設置したことにより、公園内のRVパーク利用者の満足度向上につながるとともに、夜間利用者の安全性や利便性が確保され、交流人口の増加とともに地域経済の活性化に資すると考えます。</p>						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	曾木の滝公園内における備品等の整備台数	活動実績	台	—	—	17
		活動見込	台	—	—	17
		達成度	%	—	—	100
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考		
総事業費	0	0	3,979,404			
交付金充当額	0	0	3,979,404			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	0	0	3,979,404			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	物品購入（パイプテント購入）	指名競争入札	文具・事務機の荒武（伊佐市）	1,999,404		
	工事（曾木の滝公園駐車場照明工事）	指名競争入札	有限会社田代電設（伊佐市）	1,980,000		
	計			3,979,404		
交付金事業の担当課室	伊佐市 伊佐PR課					
交付金事業の評価課室	伊佐市 伊佐PR課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備, 維持補修又は維持運営等措置	鹿児島県電源立地地域対策 補助金事業 伊佐市サイクルステーション整備 事業	伊佐市	200,000	200,000	総事業費 272,580
2	公共用施設に係る整備, 維持補修又は維持運営等措置	鹿児島県電源立地地域対策 補助金事業 伊佐市キャンプ場機能強化事業	伊佐市	788,596	788,596	総事業費 913,770

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称						
1	公共用施設に係る整備, 維持補修又は維持運営等措置	鹿児島県電源立地地域対策補助金事業 伊佐市サイクルステーション整備事業						
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊佐市						
交付金事業実施場所		伊佐市一円						
交付金事業の概要		<p>平成29年5月に自転車活用推進法が施行され、令和2年度には、九州・山口及び鹿児島県内の広域推奨ルートが設定され、令和3年度には、鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会が設立し、鹿児島県内でもサイクルツーリズムの推進が行われている。広域推奨ルート上において、伊佐市については「曾木の滝公園」と「ひしかり交流館」の2箇所がサイクルステーションの候補地となっているが、いずれもサイクルステーションとしての設備が整っていない状況であったことから、電源立地地域対策交付金を活用し、「曾木の滝公園」, 「ひしかり交流館」を含む市内主要観光地7箇所においてサイクルステーション等を整備しました。</p> <p>○伊佐市サイクルステーション整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルスタンド : 9台 ・ツールセット : 3個 ・空気入れ : 3個 						
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標		<p>主要施策：第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画 政策2：伊佐の特性を活かす地域産業づくり 施策8：観光・交流の振興 目標：観光統計（スポーツ・レクリエーション）（令和2年度現状値78,287人→令和4年度目標値90,000人）</p>						
事業開始年度		令和3年度		事業終了（予定）年度		令和3年度		
事業期間の設定理由								
		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和5年度	
		令和2年度現状値78,287人→令和4年度目標値90,000人	観光統計調査による	成果実績	人			
				目標値	人	90,000		
				達成度	%			

交付金事業の成果目標 及び成果実績	評価年度の設定理由					
	第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画の終期の翌年度に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	伊佐市内7箇所の主要な観光地へ新たにサイクルスタンドを設置し、その内3箇所はサイクルステーションとして機能するように、自転車の整備用品を新たに配備した。今後、九州内の各地域でサイクルツーリズムが推進されていく中で、自転車での来訪者の満足度向上に寄与する自転車による周遊観光が推進され、交流人口の拡大に資すると考えます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	伊佐市内一円におけるサイクルステーション備品等の整備個数	活動実績	個	—	—	15
		活動見込	個	—	—	15
		達成度	%	—	—	100
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考		
総事業費	0	0	272,580			
交付金充当額	0	0	200,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	0	0	200,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
物品購入		随意契約		有限会社松山紙店（伊佐市）		272,580
交付金事業の担当課室	伊佐市伊佐PR課					
交付金事業の評価課室	伊佐市伊佐PR課					

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
2	公共用施設に係る整備, 維持補修又は維持運営等措置	鹿児島県電源立地地域対策補助金事業 伊佐市キャンプ場機能強化事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊佐市					
交付金事業実施場所		伊佐市大口小木原ほか1件					
交付金事業の概要		<p>「十曾青少年旅行村」、「楠本川溪流自然公園」は伊佐市の所有するキャンプ場であり、同市の体験型・滞在型観光を推進するにあたって重要な拠点となっている。利用者は平成29年3,045人、平成30年3,539人、令和元年4,646人、令和2年3,824人と新型コロナウイルスの感染拡大以前は順調に推移していた。しかし、近年のアウトドアブームで需要が高まっているキャンプ用品の貸出セットについては、老朽化による損傷が激しく課題となっていたが、電源立地地域対策交付金を活用し、貸出品の更新を行ったことで同施設の魅力化や利用者の利便性・満足度向上にもつながりました。</p> <p>○伊佐市キャンプ場機能強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フライパンセット×15個、クッキングツール×15個、カトラリーセット×15個、中皿×75枚、小皿×75枚、マグカップ×75個、まな板セット×15個、収納ケース×15個、BBQグリル×15台、グリル収納ケース×15個、アウトドアワゴン×8台 					
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標		<p>主要施策：第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画 政策2：伊佐の特性を活かす地域産業づくり 施策8：観光・交流の振興 目標：観光統計（キャンプ場）（令和2年度現状値3,863人→令和4年度目標値8,000人）</p>					
事業開始年度		令和3年度	事業終了（予定）年度		令和3年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和5年度
		令和2年度現状値3,863人→令和4年度目標値8,000人	観光統計調査による	成果実績	人		
				目標値	人	8,000	
				達成度	%		
		評価年度の設定理由					
		第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画の終期の翌年度に評価を実施。					

交付金事業の定性的な成果及び評価等						
<p>老朽化による損傷や物品の不揃いなどの問題となっていた、キャンプ用品の貸出セットを新たに購入することにより、近年のアウトドアブームで需要が高まっていたキャンプ用品の貸出セットの魅力を向上させることができたと考えられる。キャンプ場の利便性・満足度が向上をPRすることにより、交流人口増加とともに、本市の体験型・滞在型観光に寄与すると考えます。</p>						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	十曾青少年旅行村、楠本川溪流自然公園内のキャンプ場における備品整備個数	活動実績	個	—	—	338
		活動見込	個	—	—	338
		達成度	%	—	—	100
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考		
総事業費	0	0	913,770			
交付金充当額	0	0	788,596			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	0	0	788,596			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	物品購入	指名競争入札	合資会社宮原スポーツ（伊佐市）	913,770		
交付金事業の担当課室	伊佐市伊佐PR課					
交付金事業の評価課室	伊佐市伊佐PR課					